



水車のミニチュア

建具、そして家具製作の二つの部門の一級技能士、宮崎宏樹さんに今回スポットを当てて。宮崎さんは、職業訓練指導員でもある。そして四月から大川建具事業(協)青年部会長に就任している。

くさん大川に舞い込み、それが木工業の発展につながったといわれている。そのミニチュアを見せてもらった。小さいが細部まで実に精巧にできている。とても興味深い。

自ら「勉強が嫌いな方ではない」といわれる。我が国初のインターコミュニティカレッジ「大川インテリア塾」(名誉塾長は麻生知事)で、平成十六年度〜平成二十一年度まで高度熟練技術者養成コース

## でぎくるくじとを一生懸命に

## 行っていききたい

### 肥後街道と木工業振興

宮崎建具

大川建具事業(協)青年部(木建会)会長

宮崎 宏樹さん





で学んだ。  
「技術向上ができたと思いま  
す。そして仕事の幅も広がり  
ました。特に組子の技術を学  
べたのはよかったですね。」と  
話される。そしておもしろい  
ことに、人間関係の分野で、



初対面の人により印象を与え  
る技術も勉強になったといわ  
れる。ビジネスマナー講座で  
学んだ。今展示販売会等で役  
立っているという。  
また、「仲間とともに切磋琢  
磨する原動力になった」とも  
いわれる。  
さて、四月二十三日、二十



肥後街道宿場を歩く

四日に「藩境のまち、第十二  
回肥後街道宿場を歩く」のイ  
ベントが行われる。われら職  
人展、酢蔵開き、スタンプラ  
リー他、イベントが盛りだく  
さん。「肥後街道」は宮崎さん  
のライフワーク。昨年度は「肥  
後街道宿場町」運営委員会の  
事務局長を務めた。宮崎さん  
は「榎津、小保の広い面で、  
江戸時代の町並みを残してい  
るは、珍しいです。しかも久  
留米藩と柳川藩の藩境に位置



花嫁道中

しています。大変貴重な文化  
遺産だと思うのですよ。」  
話を聞いておもしろかった  
のは、藩境で文化圏が違って  
いたこと。久留米藩の範囲は、  
田畑が多く、米中心、そして  
味噌味。一方柳川藩は、海鮮  
物が多く、醤油味だったこと。  
だご汁が多かったそう。  
さて、今特に力を入れている  
のは何だろうか。  
「重要伝統的建造物群保存地  
区に国から指定を受けること  
です」。「伝統的建造物群保存  
地区」とは、日本の文化財保  
護法第一四四条の規定に基づ  
き、特に価値が高いものとし  
て国（文部科学大臣）が選定  
したものを指すそう。ちな  
みに、福岡県では、城下町と

**藩境のまち** 大川「小保・榎津」  
第十二回  
**肥後街道宿場を歩く**

タイムスリップしませんか？

平成23年 4月23日(土)・24日(日)  
23日(土) 9:30~17:00 / 24日(日) 9:30~16:30  
福岡県大川市小保・榎津地区

4月23日(土) 午前9時30分 田吉原家住宅にて

われら職人展・酢蔵開き  
スタンプラリー他  
イベント盛りだくさん!!

町並み保存及びイベント推進サポーター募集  
C1事務局 〒814-0002 大川市小保 1-1-1 電話 0944-42-2521  
C2事務局 〒814-0002 大川市小保 1-1-1 電話 0944-42-2521

して秋月、商家町として八女  
福島などが指定を受けている。  
指定を受ければ、観光産業が  
盛り上がりつついくことにな  
る。  
さて、木建会の活動につい  
ても抱負を語ってもらった。  
「大川商工会議所青年部を含  
め、いろいろな業種の青年部  
との連携を強化して、一体と  
なつて木製品をPRしていき  
たいと思っています。業種の  
垣根を越えることが大事だ  
と思います。四月六・七日には  
「ジャパンインテリア総合展2  
011」が開かれます。化粧  
合板、建具、木材、工業会の



酢蔵開き

各青年部と連携して大いに盛  
り上げていきたいと思ってい  
ますよ。」と意気込みを話され  
る。今後の活動が楽しみだ。  
肥後街道と木工業の振興に  
「今できることを一生懸命に  
行っていきたい」と力強く話  
されていた。